

Symposium

Symposium 2 (I-S02)

Chair: Mikiko Ishido-Shimizu(東京女子医科大学循環器小児科)

Chair: Norihide Fukushima(国立循環器病研究センター移植医療部)

Fri. Jul 7, 2017 1:05 PM - 2:35 PM ROOM 1 (Exhibition and Event Hall Room 1)

1:05 PM - 2:35 PM

[I-S02-02] Indications and limitations of ventricular assist device implantation and heart transplantation in pediatric population

○Minori Tateishi (Department of Cardiovascular Surgery, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

Keywords: 小児, 重症心不全, 心移植

特に小児領域において「心臓移植」という出口が極めて限られた日本において、小児における補助人工心臓の適応は、多様な角度から検討されなければならない。成人と異なる点としては、成人より更に深刻なドナー不足、成長に伴う問題、疾患背景、小児特有の管理の困難さなどが挙げられる。2015年6月より小児用体外設置式補助人工心臓システム EXCOR Pediatricsが製造販売承認、保険償還されたが、植え込み施設と台数が限られているため、適応があっても治療が受けられない場合もあり、成人の体外式 VADとは状況が全く異なる。また Fontan術後など先天性心疾患の術後の場合、解剖学的な問題から VAD植え込み、移植の際に手技的な工夫を要する。欧米の報告と比較して、日本における小児領域の補助人工心臓適応と限界について考察する。